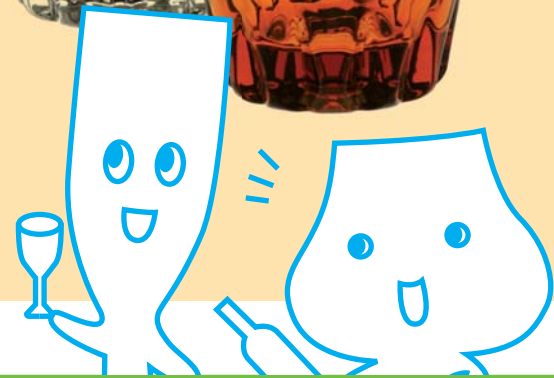


石塚硝子はどんな会社？

石塚硝子はいつできたの？

石塚硝子がガラスを作り始めたのは約200年前、江戸時代のことです。
 1819年（文政2年）、創業者である石塚岩三郎が今の美濃国土田村（現在の岐阜県可児市）で吹きガラスを作ったのが石塚硝子のはじまりです。岩三郎は、長崎でビードロ（ポルトガル語のガラス）の作り方を学んだのち、土田村で良質なガラス原料であるケイ石を発見したことから、生涯この地でガラスを作りつづけました。
 この頃の日本は江戸の後期、第11代将軍の徳川家斉が国を治め、伊能忠敬、シーボルトらが活躍した時代でした。



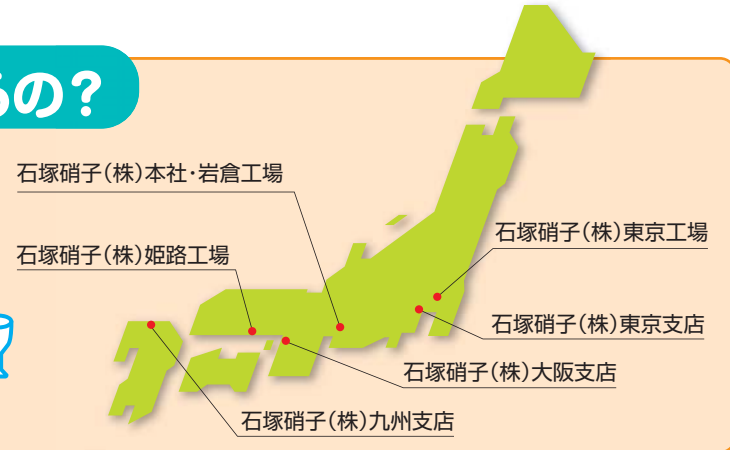
何を作っているの？

石塚硝子は、グループ会社とともにガラスびんやガラス製の食器、ペットボトルや紙パックなどの容器のほか、携帯電話や腕時計のガラスに使用される高強度ガラスなど、くらしに欠かせない身近な製品を作っています。



石塚硝子の工場はどこにあるの？

石塚硝子の工場は、愛知県岩倉市の本社・岩倉工場と、姫路、東京の3ヶ所にあります。これらの工場では、ガラスびんやペットボトルなどさまざまな製品を作っています。また東京や大阪、九州などの大きな都市には支店があります。



石塚硝子 環境への取り組み

ガラスびん工場へようこそ!!



石塚硝子株式会社 ISHIZUKA GLASS CO.,LTD.

本社所在地 〒482-8510 愛知県岩倉市川井町1880番地
 Tel 0587-37-2111(代表) Fax 0587-66-2668
 Web <http://www.ishizuka.co.jp>



ミックス品
 FSC認証林及び管理された
 森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1277
 © 1996 Forest Stewardship Council

このパンフレットは「FSC認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用し、印刷はアルカリ性現像廃液を出さず、インプロピルアルコールなどを含む、湿し水が不要な水なし印刷を採用しています。



ISHIZUKA
 石塚硝子株式会社

